

News Release

報道関係各位

2017年12月5日
株式会社バイキューブロボティクス

バイキューブロボティクス、仙台市で開催された 「世界防災フォーラム」に参加

企業・自治体向け業務用ドローンソリューションを提供する株式会社バイキューブロボティクス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：出村太晋、以下バイキューブロボティクス）は、2017年11月27日（月）、世界各地から防災の専門家や行政の担当者などが参加して、最新の研究成果や取り組みを報告する「世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台 2017」に参加いたしました。

40以上の国と地域から900人以上が参加した本フォーラムとの併催となる「ぼうさいこくたい（防災推進国民大会）」会場にて、弊社が技術提供し、これまで仙台市で行われた実証実験の実施を担当してきた防災用「セルラードローン®」と、商用サービスとして先日リリースした全自動運用ドローンシステム「DRONEBOX（ドローンボックス）」の展示を行いました。

※「セルラードローン」は㈱NTTドコモの登録商標です。



<(左)DRONEBOX と(右)防災セルラードローン>



<会場の様子>

■展示内容

展示ブースでは、防災・減災におけるドローン利活用の重要性を発信するため、防災セルラードローンとDRONEBOXの展示を行い、DRONEBOXについては弊社代表 出村より、災害発生時に人を危険にさらすことなく発災直後の状況を把握・対応意思決定が出来る全自動運用ドローンの大きな提供価値を、多くの来場者にお伝えいたしました。

防災セルラードローンは、これまで仙台市で行ってきた実証実験、「津波避難広報」「冬山遭難者捜索支援」「緊急時医薬品搬送」に使用した、機体の制御や映像の伝送に LTE 通信を用いて、様々な災害対策業務を行うことが出来るドローンです。

DRONEBOX はドローン機体に加えて自動離着陸や自動充電に対応する基地が一体となったシステムで、あらかじめ設定されたルートへの自動飛行や、画像・映像の撮影が可能のため、大規模な災害が発生した際など、人が危険な被災現場に赴くことなく、自動的に災害対策業務を遂行することが可能となります。

■世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台 2017

<http://www.worldbosaiforum.com/>

今年から仙台にて、「世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台」(World Bosai Forum / International Disaster Risk Conference in Sendai) (以下、「世界防災フォーラム」)を隔年で開催することになりました。スイスの防災ダボス会議と連携し、仙台に国内外から産・官・学・民の防災関係者が集まり、東日本大震災に関する知見を世界発信する予定です。フォーラムの場で防災の具体的な解決策を創出し、BOSAIという言葉が災害リスク軽減から復興・再生までを包括する概念として世界へ浸透させることも目指します。この世界防災フォーラムの定期開催により、東北・仙台が世界の防災の先進地となり、東北被災地の復興が進むことも期待されます。

■バイキューブロボティクスについて

<http://www.vc-robotics.com/>

2015年10月に設立され、ロボティクス領域において映像コミュニケーション技術とドローンコンピューティング技術を組み合わせたソリューション事業を展開しています。専門的な操作技術を持たない人が誰でも簡単かつ安全にドローンをコントロールし、遠隔地・多拠点からリアルタイムにモニタリング・コミュニケーションを行い、即時に必要な意思決定ができる環境を実現させていきます。コミュニケーションの可能性をさらに広げ、多くの日常業務をドローンに代替させていき、社会の中で当たり前のようにドローンが活用されている世界を創っていきます。